

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義演習
科 目 名	老年看護の成り立ちと考え方		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年次		学期及び曜時限	通年	教室名	各教室
担 当 教 員	石田 文香	実務経験と その関連資格	総合病院、老人ホームで看護師として勤務			
《授業科目における学習内容》						
対象となる高齢者の身体的変化だけでなく心理的・社会的側面をとらえ理解につなげていく。高齢者を総合的に理解し、高齢者の健康と生活を支える看護職者としての基本的な考えを学ぶ。また、高齢者に関連する保健・医療・福祉制度や倫理的な問題と課題について学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
講義・演習への出席状況、態度、課題提出状況・内容(20%)、筆記試験(80%)で総合的に判断する。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
系統看護学講座 専門分野 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 根拠と事故防止からみた老年看護技術 医学書院						
《授業外における学習方法》						
シラバスの内容を確認し、教科書や資料を参考にしながら予習と復習を行いましょう。要点をまとめながら理解することを意識してください。老年看護学に関する過去の国家試験問題に自発的に取り組みましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
座学の授業だけでなく演習やグループワークを行います。出席状況や授業への参加状況・提出課題の内容も評価に含みます。主体的に授業に参加してください。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	「老いる」ということについて説明できる。		老年看護学 老年看護 病態・疾患論 根拠と事故防止からみた老年看護技術	教科書を読み予習をする。 授業をふり返り復習をする。
		各コマにおける授業予定	加齢と変化 加齢に伴う身体的・心理的・社会的側面の変化			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	「老いを生きる」ということについて説明できる。		老年看護学 老年看護 病態・疾患論 根拠と事故防止からみた老年看護技術	教科書を読み予習をする。 授業をふり返り復習をする。
		各コマにおける授業予定	高齢者の定義 老年期の発達課題 健康と生活			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	超高齢社会の統計的輪郭について説明できる。		老年看護学 老年看護 病態・疾患論 根拠と事故防止からみた老年看護技術	教科書を読み予習をする。 授業をふり返り復習をする。
		各コマにおける授業予定	超高齢社会の現況 高齢者と家族 高齢者の健康状態 高齢者の死亡 高齢者の暮らし			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢社会における保健医療福祉の動向について説明できる。		老年看護学 老年看護 病態・疾患論 根拠と事故防止からみた老年看護技術	教科書を読み予習をする。 授業をふり返り復習をする。
		各コマにおける授業予定	保健医療福祉の制度としくみ 地域共生社会と看護活動			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の権利擁護について説明できる。		老年看護学 老年看護 病態・疾患論 根拠と事故防止からみた老年看護技術	教科書を読み予習をする。 授業をふり返り復習をする。
		各コマにおける授業予定	高齢者に対する差別と権利擁護 高齢者虐待 身体拘束 権利擁護のための制度 高齢者の権利擁護に対する老年看護への期待			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年看護のなりたちについて説明できる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	老年看護の発展と定義 老年看護の役割 老年看護における理論・概念の活用 老年看護に携わる者の責務	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	ヘルスアセスメントの基本について説明できる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	ヘルスアセスメントの枠組み 高齢者総合機能評価(CGA)	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体に加齢変化とアセスメントについて項目ごとにまとめることができる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	身体に加齢変化とアセスメント① 皮膚とその付属器 視聴覚とそのほかの感覚	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体に加齢変化とアセスメントについて項目ごとにまとめることができる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	身体に加齢変化とアセスメント② 循環器系 血液・造血器系 免疫系 呼吸器系 消化器系 代謝系	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	身体に加齢変化とアセスメントについて項目ごとにまとめることができる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	身体に加齢変化とアセスメント③ 泌尿生殖器系 神経系 運動系	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の身体的変化を考えながら疑似体験をすることができる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	演習の要項と教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	高齢者疑似体験の演習	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。
第12回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	エンドオブライフケアについて説明できる。 死生観について自己の考えを述べることができる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	エンドオブライフケア グループワーク 死生観についてグループ討議・発表	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。 自己の死生観について考えをまとめる。
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	生活・療養の場における看護について説明できる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	地域における高齢者への看護 保健医療福祉施設および居住施設における看護	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。
第14回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	生活・療養の場における看護について説明できる。 意思決定への支援について自己の考えを述べることができる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	高齢者を含む家族の看護 多職種連携実践による活動 グループワーク 意思決定への支援についてグループ討議・発表	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	災害に伴う高齢者の看護について説明できる。	老年看護学 老年看護 病態・疾患論	教科書を読み予習をする。
		各コマにおける授業予定	災害における高齢者の脆弱性 災害フェーズと高齢者支援 看護職に求められる役割	根拠と事故防止からみた老年看護技術	授業をふり返り復習をする。